

光輝☆



令和2年9月14日

第5号

市川市立妙典中学校

電話395-5811

『担任、(担当)の教職員とのコミュニケーション』

校長 奥野 秀夫

7月31日までは、涼しくて毎日雨でしたが、夏休みに入った8月からは、梅雨も明けて最高気温が35度を超えて毎日暑い日が続きました。このような中で例年より、約2週間早く2学期が始まり、一か月経ちました。

さて、私もそうですが、慣れてきたことに手を抜いてしまいがちになってしまうこともあります。最近体温を測り忘れてたり、健康観察表を忘れてしまったり、石鹸による手洗いを厳かにしてしまったりしている人がいますね。皆さんが学校生活を楽しく過ごすために、あらためて初心の気持ちで行ってみましょう。

また、熱中症予防のためにも喉が渇く前のこまめな水分補給も忘れないでください。そうすることで、暑い夏もコロナも乗り切っていけます。

2学期の体育祭も明るく元気に、そして何よりも笑顔あふれる生活にしていきましょう。

中学生になりましたら、小学生のころと違って、心身の発達に目をみはるものがあります。自立心もひときわ芽生えてきます。それだけに、保護者のみなさまからしますと、お子様の様子に戸惑いや心配事など、いろいろと気になることも出てきます。そんな時は担任とよくお話をしてください。全く遠慮はいりません。最近、担任を飛び越して、校長や教育委員会に直接話をするというケースが多く見受けられます。

この背景には、校長や教育委員会をとおして担任に保護者の要望や意見を伝えるというお気持ちがあるようです。是非確認していただきたいことは、一人ひとりの生徒と担任の関係は、学校における基礎基本となる人間関係です。ですから生徒と担任の間には強い信頼関係、人間的な結びつきがなければなりません。仮に保護者のみなさまが担任の頭越しに、校長や教育委員会をとおして担任にご自分の意見や要望をぶつけるようなことあるとすれば、そのことが生徒と担任の間の信頼関係にどのようにプラスになるのかということを一度考えてください。

率直に申し上げれば、担任もなんで自分に言ってくれないのかなあ～となる場合もあるでしょう。ご家庭も保護者もそして担任も、子どもを、生徒を、育てるという点ではまったく一致しています。しかし、それぞれ置かれた立場や役割が異なりますから、保護者と担任との間に考え方の違いや意見の食い違いが生まれてくるのは、ある意味で当然のことです。

そんな時こそ全く遠慮は要りません。保護者の考えや意見をどんどん担任に伝えてください。そうしますと担任の方も、自分の考えや意見を保護者にはっきりと伝えることができます。この中から誤解があればそれを解き、意見の対立があればそれを乗り越えて、生徒のために一緒に協力し合って前に進んで行けると信じております。

生徒会企画「妙典中ワクワク企画」

8月25日（火）7時間目に、生徒会が企画した「妙典中ワクワク企画」が開催されました。事前に録画し編集したものを各学級で見て、学級で相談しながら回答するというクイズです。全部で12問ありました。全校の皆さんもとても楽しんでくれたようで、教室からは歓声や笑い声が響いていました。生徒会の皆さんありがとうございます。第二弾を期待します！

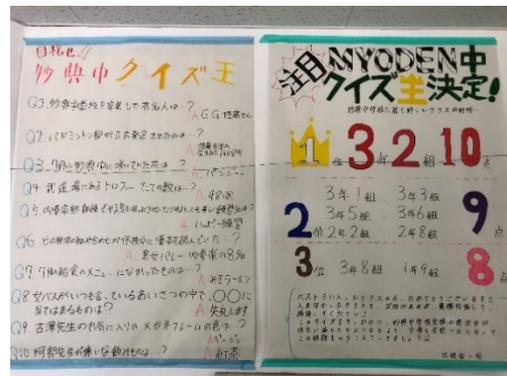
ルール

- ・今から妙典中全体に関わることや、部活動・委員会に関するクイズを10問出題します。
- ・問題に対する答えを、**クラスでまとめてください。**
- ・1問に対して、**クラスで相談する時間を45秒間**、その後、評議委員の司会で**多数決をとる時間を45秒間**与えます。
- ・その問題にかかわる委員会や部活動に入っている**生徒の解答権は、なしとします。**
- ・時間内にクラスで答えをまとめ、評議委員は答えを解答用紙に記入してください。

第7問

次のうち、7月の給食のメニューになかったものは、どれでしょう？

- ①五目ちらし寿司
- ②夏野菜カレー
- ③味噌ラーメン
- ④うなぎご飯



避難訓練

8月24日（月）6時間目に避難訓練を行いました。地震想定での身を守る訓練（シェイクアウト）そして、校庭への避難、その後津波想定での、3、4階への二次避難を行いました。静かに、真剣に、迅速に取り組みました。素晴らしいです！

災害はいつ何処で起こるか分かりません。学校、家、外出中と場所も様々です。

大切なことは、焦らずにまずは、自分の安全を確保することです。そしてお互いに助け合うことも非常に大切です。



天声人語から

市内の小中学校においても、新型コロナウイルス感染者が出ています。どこの学校にも起こりうることです。私も含め、誰にでも感染する可能性があります。感染者は好きで感染したわけではありません。不可抗力です。本校においても、他校で出た感染者について、誰が感染したのかなどをSNSのグループラインを介して探し出そうとするような投稿もありました。

以下の記事は朝日新聞に掲載されたものですが、みなさんも感じるがあると思います。目を通してみてください。

「安心して感染したい」。その言葉を見かけたとき、何ごとかと目が釘付けになった。ある5コマ漫画に付された題。感染者がひとりも出ていない町に暮らす人々ならでは心のひだが描かれていた▼「狭い町で噂になるから一人目にだけはなりたくないわ」「感染したって分かったらすぐに村八分にされんぞ」。新潟県見附市の公式フェイスブックに先月載った作品だ。不安を訴える住民に続き、作者が自らつぶやく。「噂するのも村八分にするのも後ろ指さすのも陰口叩くのもウイルスじゃない。この『ひと』なんだよなあ」▼描いたのは地元在住のイラストレーター村上徹さん(40)。人口4万の小さな市は感染者ゼロで推移してきた。「住民には重圧でした。もし感染しても、早く完治してねと励ましあう町であってほしいと絵筆を走らせました」▼感染拡大の第2波がやまない。同じ不安に直面している市町村は少なくないだろう。「うちが感染源になったら、ご近所に申し開きできない」。当方も今夏、実家の親から幾度も念を押され、帰省をあきらめた▼さて見附市では先週、初めての陽性者が確認された。ウイルスは市町村の境目などものともしない。それなのにウイルスではなく、感染者と家族をなじる言動が各地でいまなお絶えない▼ことここに至れば、大切なのは、陽性者が出たあとの対応であろう。老若男女、だれしものが安心して感染できる世の中でありたい。そうなれば闘う相手はウイルスだけで済む。

2020. 8. 24 朝日新聞 天声人語から

9月、10月の主な予定

9月	10月
23日(水) 2, 3年内科検診 まなびくらぶ	1日(木) 尿検査
24日(木) 1, 2年内科検診	7日(水) 体育祭全体練習開始 まなびくらぶ
25日(金) 生徒会役員選挙	12日(月) 教育実習開始
28日(月) 1, 2年歯科検診	13日(火) 体育祭予行
30日(水) まなびくらぶ	16日(金) 体育祭(給食あり)
	19日(月) 体育祭予備
	21日(水) まなびくらぶ
	22日(木) 進路保護者会
	23日(金) 3年進路集会
	26日(月) 1年耳鼻科検診
	27日(火) 3年寄席観賞
	28日(水) 専門委員会、まなびくらぶ
	30日(金) 前期終了 全校集会(校庭) 通知票配布